



飢餓から救う。未来を救う。



ウクライナ産の小麦への依存度が高いエチオピアで、国連WFPの食料支援を受け取る男の子。エチオピア北西部ティグライ州の紛争が波及し、隣接する州でも深刻な食料危機が広がっています。

国連の食料支援機関

# 国連WFPニュース Jul. 2022 Vol.68

特集・ウクライナ紛争の影響と飢餓  
食料、燃料、輸送費の高騰が、最も弱い立場の人びとを直撃

SAVING  
LIVES  
CHANGING  
LIVES



## 長年の紛争に干ばつ アフリカの多重苦を知ってほしい

日本人職員に聞く 東アフリカ地域局・富田絵理葉さん

富田絵理葉さんは2021年1月から、東アフリカ地域局で、政府や民間などとの連携強化を担うパートナーシップ担当として、ケニアのナイロビに勤務しています。日本のJICAとも共同で、ケニア北部で学校や家庭菜園を通じた栄養支援に取り組んでいます。

「2020年から続く干ばつは深刻で、家畜を失い作物が育てられず、人びとの栄養状況が悪化しています。」

8月にはチュニジアで、日本が主催するTICAD 8 (アフリカ開発会議)が開かれます。

「東アフリカの人びとは長年にわたり干ばつや紛争に苦しんできました。ウクライナ紛争の影響で物価が高騰するなど、もともと脆弱な立場にあった人びとがさらに苦しい状況に追いやられています。TICADが、今一度アフリカの食料不安の状況に焦点をあて、国際社会からさらに支援が集まる機会となることを期待します。」

全文の詳しい記事はこちらへ







東アフリカ地域局  
富田絵理葉さん



## 身近にできる国連WFP支援 レッドカップキャンペーン

新たな参加企業はこちらです。  
売り上げの一部は学校給食支援に寄付されます。  
<https://www.jawfp.org/redcup/>



|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| <p>株式会社 ABC Cooking Studio<br/>クッキング1dayレッスン<br/>「食品ロス削減レッスン」</p>  | <p>株式会社リロパケーションズ<br/>公式サイトからの予約<br/>(全33ホテル/旅館が対象)</p>  | <p>三菱食品株式会社<br/>からだシフト糖質コントロール<br/>クラムチャウダー/かむかむレモン30g<br/>冷凍ミールキット「ララ・キット」<br/>牛すき焼き</p>  | <p>三本珈琲株式会社<br/>「SUNSHINE COFFEE PROJECT」<br/>(業務用商品 / 小売用も発売予定)</p>  |
|---|--|---|--|

## インフォメーション

### WFP チャリティーエッセイコンテスト

応募 1 作品につき、学校給食 2日分(60円)が寄付協力企業により国連WFPに寄付される本コンテスト。今年のテーマは「わけあおう！わたしの幸せごはん」  
応募締切は9月2日(金)です。ご応募をお待ちしています！

https://www.wfpessay.jp/2022/

《特別審査員》  
・ふなっしーさん  
・おいでやすこがさん(芸人)  
・竹下景子さん  
(国連WFP協会親善大使/俳優)



### 2022年度のACジャパン「支援キャンペーン」に国連WFP協会が選ばれました。

7月から来年6月まで、テレビ・ラジオCM、新聞、交通広告等に展開されます。「最初の一粒」  
『最後の一粒までちゃんと食べなさい』一度は聞いたことや言ったことがあるのではないのでしょうか。その一方で、感染症や気候変動、紛争の影響で「最初の一粒」も手に入らない子どもが世界にはたくさんいます。多くの皆さまに世界の問題を身近に感じてほしい、という願いを込めて製作しました。

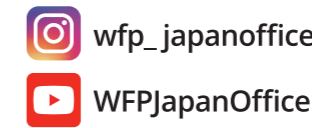


協力：(公社)ACジャパン



国連WFP  
<https://ja.wfp.org>  
0120-496-819  
受付時間 9:00 ~ 18:00  
(通話料無料・年始を除く年中無休)

国連WFPは「飢餓をゼロに」の実現を通して、SDGsのさまざまな目標の達成に貢献しています。



# 特集・ウクライナ紛争の影響と飢餓

## 食料、燃料、輸送費の高騰が、最も弱い立場の人びとを直撃

「最近、食べ物が値上がりしたな」と感じたことはありませんか。気候変動による干ばつの深刻化などに加え、ウクライナでの紛争が、世界的な食料の供給不安を招いたためです。最も弱い立場の人びとにとって、食料価格の高騰は命をも脅かしかねない問題です。

### 包囲で食料が底をつく

ウクライナでは、女性・子どもを中心に、国民の約3分の1に当たる**約1400万人が、国内外への避難**を強いられています。国連WFPは5月下旬時点で国内に避難する430万人に、パスタや肉の缶詰などの食料を提供。さらにウクライナ避難民を受け入れているモルドバなどの周辺国でも、支援を実施しています。

ウクライナ東部ハルキウからドニプロに逃れた29歳のニーナさんは「生まれ育った町に爆弾が落ち、何が起きたか一瞬分かりませんでした」と涙ながらに語ります。国連WFPの食料を受け取り（避難民は）みんな仕事もなく、食べ物を買うお金もありません。支援はともありがたいです」と、感謝の言葉を口にしました。

しかし包囲された都市や戦闘地域では、支援団体のアクセスが限られ食料や水が不足しています。食料を得るため外に出ることが命にかかわる、という地域もあります。

農地は戦場となり、農民たちは避難

を強いられました。戦闘が続けば、同国の2022〜23年の**収穫量は前年から半減する**恐れもあると推計されています。農地に地雷が設置されれば、撤去するまで農作業を始められませんが、このため戦闘が終息しても、ウクライナの農業が元の状態に戻るには、時間がかかるのではないかと懸念されています。

ウクライナでの戦争は、世界的な食料と燃料の価格高騰を招きました。ウクライナを含む黒海沿岸地域は、世界に輸出される小麦の30%、トウモロコシの20%を生産しています。このため開戦から1カ月で、小麦の輸出価格は22%、トウモロコシは20%、それぞれ値上がりしました。ロシアからの原油供給が滞る懸念が広がったため、燃料価格も高止まりしています。

ため、支援ルートの中には、1月に比べて**輸送費が2倍になった航路**も増え、国連WFPの活動を圧迫しています。

ウクライナの港が閉鎖（6月時点）されたことも、事態を悪化させました。同国は戦争が始まる前、世界の4億人分を超える食料を生産・輸出していました。「ウクライナの穀物サイロ（貯蔵用の円筒形タンク）は満杯」（国連WFP事務局長のデイビッド・ビーズリー）なのに、空腹を抱えた人びとにそれらを届けることができないのです。食料の需給バランスは更に崩れ、値上がりに拍車を掛けました。

**干ばつ、紛争も価格高騰の原因に** 食料や燃料価格の値上げを招いているのは、ウクライナの戦争だけではなく、ウクライナ以外の戦争でも要因となっています。

国連WFPが調達している小麦は**半分以上がウクライナ産**です。特に同国産小麦への依存度が高い東アフリカのソマリアやエチオピアでは、支援食料の調達コストが上昇。燃料高の

値上げによって最も大きな打撃を受けるのは、支出に占める食費の割合が大きい、貧しい人びとです。

西アフリカでは深刻な飢餓に陥る人が**過去3年間で4倍に増える**など、世界各地で食料不足が深刻化しています。

**エチオピア**：2020年から約2年続いた北部ティグライ州での紛争と、1981年以来最悪と言われる干ばつに襲われ、720万人が食料不足に陥っています。国連WFPは緊急食料支援や学校給食などを通じて350万人を支援することを目指していますが、活動資金は目標に達していません。

ソマリアで牧畜を営む49歳のハナさんは、干ばつのため住みかを転々としながら7人の子を育てています。乳牛23頭のうち17頭が死に「残った牛も1年以上、乳を出していません」と言っています。

ケニアやソマリア、スーダンなどでも同様に、食料不足が深刻化しています。

**イエメン**：長期化する内戦と経済情勢の悪化で、1740万人が食料支援を必要としています。過去数カ月は輸入する小麦の31%はウクライナ産が占めているため、小麦の輸入価格が**2015年の7倍に跳ね上がり**ました。

3年前に戦闘によって故郷を追われ、2人の子ともたちと避難生活を送るアリさん（35歳）は言います。「戦いを逃れたからと言って安全



© WFP/Michael Tewelde

エチオピア：ハナさんは残された牛を生き延びさせるため、家の茅葺き屋根から摘んだ藁を与えるほかありません。国連WFPは、干ばつの危機に直面するソマリア州の人びとに緊急食料支援を提供するほか、家畜を守るよう、低額の保険（マイクロインシュアランス）を提供しています。



© WFP/Edward Johnson

ウクライナで小麦、トウモロコシ、ヒマワリ（油）、菜種（油）を栽培するアンドリイさん。港の封鎖と穀物輸出の停止は、ウクライナの農家の暮らしに深刻な影響をもたらしています。

だとは思えません。食べ物を確保し、子どもたちを飢えから守れて初めて安心できるのです。食料がない時は思い悩んで眠ることもできません」。

**アフガニスタン**：昨年8月、タリバンが首都カブールを制圧してから約1年が過ぎたこの国は、小麦の多くを輸入に依存しています。今年4月には制圧前に比べて小麦価格が46%、食用油が39%、それぞれ値上がりしました。長い厳しい冬と干ばつ、さらに国際的な食料・原油価格の高騰で、人口の約半数に当たる1970万人が食料不安に陥っています。一部の地域では、**飢餓が「壊滅的な水準」にまで進んでいます**。

### 資金不足に負けず、支援を届け続ける

国連WFPは資金不足などの壁に直面しながらも、人びとの命を救うため

の食料を届けています。さらに価格高騰や干ばつなどの難局を乗り越える強靱性のあるコミュニティを作る活動も続けています。

© Junko Tamaki(t.cube)



## News! 俳優の杏さん、国連WFP親善大使に就任!

俳優でファッションモデルの杏さんが、国連WFPの親善大使に就任しました。杏さんは3児の母として、育児や日々の食事作りに奮闘中。俳優としても、NHKの朝の連続テレビ小説「ごちそうさん」に主演してブレイクするなど、食にゆかりの深いキャリアを歩んできました。今後の国連WFPでの活動にご期待下さい!

—杏さんからのメッセージ—

「私にできることは何があるのだろうか?と考え、学び続けながら、できることをどんどん取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いたします。」